

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

平成28年度 第4号

平成28年 5月27日発行

大田区立蓮沼中学校

校長 大原 章博

蓮沼中鏡

修学旅行

— 3学年 5/11~13 —



中学校生活の中で最も思い出に残る行事の一つである修学旅行を無事、終わることができました。

1日目は、奈良公園と法隆寺の見学でした。前日の雨のおかげで、気温も上がらず、砂埃もたつことなく、歩きやすい環境でした。生徒は、事前に学習してきた予備知識やガイドさんの説明をよく聞いて見学することができました。東大寺や法隆寺が担っている世界史や日本史に占める歴史的意義や文化的意義を肌で感じ取ってくれたことと思います。世界遺産の見学を通して、日本の伝統・文化を身近に感じるとともに先人の知恵や工夫を学んでくれたことでしょう。

2日目、3日目は夏日になる気温で晴天にも恵まれ、それぞれの班の計画のもと、班行動で京都市内の見学をしました。「旅行の楽しさは計画を立てるところにある」といいます。事前に十分な学習を行い、班で協力し合いながら旅行の計画を立ててきたと思います。きっと見たり、体験したりした古都の日本の伝統文化や建造物や史跡に対する感動は、大きなものだったにちがいません。この感動が、心に残る宝物のような記憶となったと思います。

また、多くの人との出会いや支援を受ける場面もあったことでしょう。道に迷えば、地元の人に礼儀をわきまえて、道を尋ねることでの触れ合いや、お世話になった宿の人たちや写真屋さんに感謝することや、添乗員さん、バスの乗務員の方々、タクシーの運転手さん、そして何よりも家族の温かい愛情に支えられていることも感じる事ができたと思います。

今回の修学旅行では、実行委員の活躍が目立ちました。先生の指示ではなく、実行委員からの指示でいろいろなことが行われていきました。これまでの中学校生活の成果が十分に表れていたと言えます。

3年間の学習で身につけたことを行動に生かすことができているのです。中学生としての自覚をもって行動し、「蓮中の生徒のマナーや行動、熱心に見学する態度は素晴らしいですね。」と言われる場面が多く、3年生を誇らしく思える修学旅行になっていました。まさに、自分たちの手で作り、実行する修学旅行ができたと思います。この先輩の姿を本校の良き伝統として、後輩も引き継いでいってほしいと強く思いました。



全校漢字コンテスト

5/20(金)

今年度から、全校一斉の学力コンテストを実施することにしました。その第一弾として、漢字コンテストを行いました。

漢字は練習することによって書くことや読むことができるようになると思います。出題範囲は小学校で学習する漢字を中心に国語科が作成した練習プリントからのものです。朝読書の時間も、1週間前漢字練習の時間にかえて取り組んできました。当日、あわてて練習する生徒や、練習十分なのかは分かりませんが、まったく動じない生徒など様々でした。しかし、始まるとどの生徒も真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

出題内容は、小学校6年生までに学習する漢字の範囲で、書き取り75題、読み取り25題です。この100題を30分間の時間で行いました。どの学年も共通問題で取り組みました。

結果は次号でお知らせする予定です。また、優秀者についても「蓮沼中鏡」で発表しますので次号を楽しみにしてください。



校長のひとり言

23日に教育実習生紹介のために臨時朝礼を行った。朝礼開始の8時25分に体育館に間に合わなかった生徒が2人いたが、25分のチャイムが鳴った。すると、誰かが注意をしたわけでもないのに、自然と話し声なくなった。生徒一人ひとりが今、すべきことを理解して静かになったのである。とてもうれしく感じ、生徒を誇りに思えた瞬間であった。

教育実習生

5月23日から6月10日までの3週間、本校に教育実習生として2人の先生が来ています。

英語科の **安藤 瑠美** 先生

音楽科の **榊原 玲子** 先生

安藤先生は2年に、榊原先生は3年のそれぞれの学年で、皆さんと一緒に学校生活を共にします。3週間という短い期間ですが、よろしくお願いいたします。

避難訓練

5月20日に今年度になって初めて、校庭に避難する避難訓練を行いました。地震を想定したの訓練でしたので、全員がヘルメットを着用しての校庭避難になりました。

避難開始から点呼完了までにかかった時間は4分24秒でした。初めての避難にしては、素早く行動できたと思います。これから回数を重ねていくことで、時間短縮と無言での行動を目指していきたいと思います。

今後も「お・か・し・も」の注意を守り、真面目に参加し、いざというときのために役立てたいと思います。



ヘルメット着用して避難する生徒のようす

